



**発行所**  
公益社団法人 全国珠算教育連盟  
**青森県支部**  
所在地 三沢市中央町4丁目4-6  
☎ 0176 (51) 5018  
支部長 齋藤 隆  
責任者 福士隆行

## 令和4年度支部定時総会、三沢市で開催

令和4年度支部定時総会が8月21日(日)、三沢市「国際交流教育センター」に於いて開催されました。

午後12時30分に開会、議案審議に先立ち会員表彰が行われ、本部表彰では事業優績で加藤京子先生(むつ地区)と齋藤智加先生(弘前地区)、検定優績では佐藤淳子先生(八戸地区)はじめ7名、永年在籍は50年で種市ミキ先生(三沢地区)と林正彦先生(青森地区)、40年で松田良子先生(八戸地区)と馬場和子先生(三沢地区)が受賞されました。支部表彰では、検定功労賞を関向知寿先生(十和田地区)と塩谷佳代子先生(弘前地区)、研修奨励賞を能登金文先生(八戸地区)はじめ4名の方が受賞されました。



続いて、齋藤隆支部長が挨拶、「コロナ禍が収束の兆しのない中であって悩みましたが、政府の地域経済の活性化、社会活動との両立をめざす方針等も考慮し、感染防止対策を徹底したうえで3年ぶりの現地開催に踏み切りました」と話しました。

議案審議では第1号議案「令和3年度事業報告ならびに収支決算の承認を求める件」について支部長、各執行部長が事業内容について詳しく説明、監査の所見があり賛成多数で承認されました。協議報告事項では第49回東北七県珠算競技大会(7月29日・青森市ハートピアローフク)の報告が村元柳子先生より、令和4年度全日本珠算選手権大会(8月8日・京都府)の報告が齋藤隆支部長よりあり、好成績を収めたことなどが報告されました。(午後1時45分終了)

## 珠算指導者講習会「検定試験委員委嘱講習会」

8月21日(日)支部定時総会終了後、午後1時50分から「検定試験委員委嘱講習会」が開催されました。第一講座「検定試験監督の手引き」を齋藤隆支部長、第二講座「答案審査要領」を能登金文研修部長が担当しました。

検定試験委員委嘱制度とは入会条件が緩和された現在、誰でもなれる試験委員制度では外部からの信頼が得られないため、このような制度が制定されました。試験委員の委嘱を受けるためには、珠算教育士の免許を取得していること(免許を受けていない方は申請から5年以内に取得のこと)。試験委員の委嘱は4年ごとに更新となり、支部検定試験委員会が実施する検定試験委員委嘱講習会を受講することが義務づけられました。これは試験委員の些細なミスでもインターネットを通じて受験者から情報が広まる時代となっており、会員の資質の向上が欠かせないものとなっていることから受講が義務づけられたものです。



第一講座「検定試験監督の手引き」では試験委員のモラルや身だしなみについての説明、検定試験執行の不手際によるトラブルを防止するため、試験委員のモラルの向上を図る必要があること、試験の執行にあたり開始前の準備から執行上の注意、執行後の処置について、災害時の対応やトラブル発生の際の対応について説明しました。

**検定試験+段合格者**  
第410回検定試験  
— 令和4年7月24日施行 —  
暗算 高木 優風 (三沢地区)

第二講座「答案審査要領」では重複記入、欄外記入、不明瞭数字、コンマと小数点の区別、応用計算の答え、答えの訂正など事例を示して有効か無効かを説明しました。(午後4時20分終了)

## 小学生そろばん体験教室で珠算指導

8月8日・9日(月・火曜日)、青森市西部市民センターで二戸昭代先生が『小学生そろばん体験教室』で講師を務められました(湯田利子先生、岩崎カネ子先生が手伝う)。

市民センターのスクールは「地域社会の中での問題、課題やその解決方法について学び、学習の過程や活動の成果を地域社会に活かしていくことを目的」として、様々な講座が実施されています。今回、同地域で珠算教室を運営している二戸先生に講師依頼がありボランティアとして引き受けました。

市報で募集され、2日間で9名の参加者があり、各々約1時間珠算の初歩指導を行いました。二戸先生は「生徒達に楽しんでそろばんに触れてもらいたい。それが一番の願いでした」と話し「小学1年生から4年生までで進度がバラバラだったので岩崎、湯田先生に手伝ってもらって良かった」と両先生に感謝していました。最後にゲームをして楽しい時間を過ごし受講者同士の親睦を深めました。

西部市民センターでは受講者にアンケートをとっていましたが、その中に「そろばんを習いたい」と書いてありました。二戸先生はその子達がどこかでそろばんを続けてほしいと願っていました。



## 第49回東北七県珠算競技大会 …オンライン開催…

7月29日(金)、第49回東北七県珠算競技大会が東北各県支部会場をオンラインで結び実施されました(青森県支部は青森市のハートピアアローフクで開催)。

午後12時55分、大場英和秋田県支部長が開会を宣言、続いて仲村昌夫大会長(新潟県支部長)が挨拶「今回オンラインによって大会を実施する運びとなりました。各県支部の皆様にはご協力をいただき、ありがとうございました」と感謝の言葉を述べました。

続いて来賓の工藤壽和本部理事長が、開催担当の新潟県支部はじめ東北各県支部への労いの言葉とともに、「協力して東北七県珠算競技大会を成功させてほしい」と話されました。選手を代表して新潟県の加藤洋樹君が「コロナ渦の中でもモチベーションを高めて練習してきた。私達をささえてくれた方に感謝し全力で競技することを誓います」と宣誓、東北七県の精鋭231名による「東北一」をめざす熱い戦いが繰り広げられました。閉会式では丹野知行本部理事が講評、次回開催担当の木村弘宮城県支部長が閉会を宣言。午後4時35分、予定時間通りに滞りなく終了しました。

成績発表は、8月2日(火)午後8時に本オンライン大会を担当する青森県支部のYouTubeチャンネルで発表されました。



### ■青森県の大会成績(優勝のみ)

団体：全部門優勝  
個人総合：第二部 山内 勇和  
第三部 赤塚 桜菜  
読上暗算：第二部 熊野 暁文  
読上算：第二部 山内 勇和  
フラッシュ暗算：第二部 山内 勇和

## 令和4年度 全日本通信珠算競技大会兼青森県珠算選手権大会 青森市で3年ぶりに開催

10月10日(スポーツの日)、青森市のリンクステーションホールに於いて令和4年度全日本通信珠算競技大会兼青森県珠算選手権大会が開催されました。85名の選手が参加し12時30分に開会、斎藤隆支部長が「2年間オンラインで行われてきましたが3年ぶりに一同が会しての大会となりました。コロナウイルスの影響が今後も心配されますが希望を持ってこの大会を継続していきたい。今日は順位とかではなくて自己ベストを目指して臨んで下さい。好成績を期待しています」と挨拶しました。競技開始は12時40分、「日本一」をめざして真剣に問題と取り組んでいました。今回はコロナウイルス感染防止のため賞状と賞品の授与は行わず成績発表のみとし、後日各教場にて授与していただくことになりました。閉会式では及川義明支部顧問が「オープニングの優勝の記録で見るとおり県大会で優勝すれば日本一の可能性がある。今回も期待しています。今日の大会の経験を明日の練習の糧にしてください」と話されました。運営はスムーズに進み予定時間より早い午後4時に終了しました。

